

## H23 年度科学・技術関係予算概算要求 全体ヒアリング（警察庁）

- 1 日時：平成 22 年 9 月 2 日 18:35～18:55
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 12 階 1208 会議室
- 3 聴取者：相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、青木議員、中鉢議員
- 4 説明者：福島長官官房技術審議官
- 5 説明概要

冒頭、相澤議員から、今回の全体ヒアリングの進め方について「個別の施策についての話は行わず、省全体の科学・技術関係施策の概算要求の基本的考え方、最重点化課題の対応、来年度の独法における取組について確認したい」旨の説明あり。

引き続き、警察庁から資料について説明（科学・技術関係要求・要望額：22 億円うち要望額 1 億円）があり、質疑応答。

### 6 質疑応答模様

#### 【奥村議員】

研究活動は科警研が中心になって実施されていると思う。海外の研究機関との情報交換を密に行くと説明資料に記載されている。技術の範囲が広いため、あらゆる範囲の研究を科警研で行うことは不可能だと思う。海外の先進国の警察の研究機関と連携していく必要がある。

直近の動きでいうと、殺人罪の時効が無くなり、長期間の捜査をしなければならない。多くの科学的知見があると有効だと思うが、既に時効が無い国での知見やノウハウを積極的に取り入れていく等のお考えがあれば、聞かせて頂きたい。

#### 【警察庁】

例えば、アメリカでいえば FBI の研究所など、セキュリティ関係の研究所と国際学会等で情報交換している。技術レベルや対策について、欧米と連携体制はとれている。

非常に技術の範囲が広いので、最先端の部分について科警研でも力を入れて取り組んでいる。

#### 【中鉢議員】

警察の無線のセキュリティはどうなっているのか。無線の盗聴等も含めて脆弱性が高いのではないかと心配しているが、そういった研究は十分なされているのか。

#### 【警察庁】

警察の無線通信は既にデジタル化されているところであるが、昨年度の大型の補正予算により、警察無線の高度化更新を実施しており、ご指摘のような脆弱性の問題等が無いように進めている。加えて、長期的な視点で世の中の技術の動向も把握している。この場で説明したのは、主に科警研の予算であるが、通信技術関係で言えば、暗号の他にも、携帯電話の情報解析等に関する技術的検討を行っているが、これらは研究開発というよりも定型化されている技術を用いてどう対処していくのかという性質のものであるので、捜査の一環として位

置付けており、科学・技術関係予算には加えていない。

【相澤議員】

概算要求の基本的考え方における個別施策の項目がどこなのか。それに対する要求額がいくらなのかということが分からないので、予算の一覧表と対応した形で示されないとわかりにくい。本省分の予算を削減して、特別枠で要求しているが、この内容が基本的考え方のどの施策に対応しているのか。

【警察庁】

特別枠の金額は、グリーン・イノベーションの ITS 関連と対応している。科警研のように犯罪対策に密接に関連するものについては要求額で確保し、また、新成長戦略に関連し、より良いものにしていこうとするものについては要望枠としている。

【相澤議員】

津村政務官から各省に対してお伝えしていることを代わって申し上げます。特に特別枠の要求については、新成長戦略と密接な関連性が必要である。そこで何をいつまでに達成するのかという目標と期限を明確化し、さらにその目標を達成することの社会的意義を示すことで、PDCA サイクルを推進することが重要。是非、個別ヒアリングの際にその旨がはっきり分かるように対応して頂きたい。

本日の資料は残念ながら、そのような観点からの記載が十分に見えにくい。基本的な考え方に示された施策が何を目標としているかが分からない。もし、補足して頂けるなら、資料を個別施策ヒアリングとは別に出して頂ければ、私たちの判断に有効に働くのではないかと思う。

【警察庁】

特に特別枠の ITS については、IT 戦略が構築され、それに基づいて ITS のタスクフォースが設置され、工程表も作られている。ご指摘のような PDCA サイクルを推進することについては、そういった大きな枠組みの中で各省とも連携しながら進めていく。

ただいまのご指摘頂いた点については、別途資料を提出させて頂く。

以上